

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	インプラント歯科診療補助	学年	3 年 50 期生
担当者		期 別	2年次後期～3年次前期
単位数	1 単 位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4 時間× 4 回	専任・兼任	兼任
実務経験	日本口腔インプラント学会員。本校の歯科技工士科で15年以上の非常勤講師の経験と、開業して32年歯科医院での臨床経験がある講師が講義する。		

一般目標 (GIO)

本科目は、インプラント治療に関する理論や根拠を学び、その手術を理解して患者への安心、安全なインプラント治療を提供する知識、手順身につける。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
2年次					
1	11	29	3	インプラント治療のアシスタントワークからメンテナンスまで	インプラントに関する基礎知識を説明することができる
2		29	4	”	術前の消毒・滅菌・ドレーピングを説明することができる
3	1	10	3	”	術後の患者対応・医療サイド編を理解することができる
4		10	4	”	術後の患者対応・患者サイド編を理解することができる
3年次					
5	4	11	3	インプラント手術編	インプラント埋入手術を理解することができる
6		11	4	”	骨補填材について説明することができる
7		18	3	インプラント補綴処置編	補綴処置・セメント固定を理解することができる
8		18	4	”	補綴処置・スクリュー固定を理解することができる
9					
10					
11					
12					
13					
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	80%	歯科衛生士のための臨床		みるみる理解できるインプラント入門 (クインテッセンス出版)	
平常点	20%	インプラント講座			
	%				
	%				

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科予防処置実習	学年	3年50期生
担当者		期別	通年
単位数	1単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	2時間×3回/4時間×6回	専任・兼任	専任
実務経験	九州大学病院での臨床経験を有する		

一般目標(GIO)

・キュレットスケーラー及び超音波スケーラーを使用できるようになり、臨床に即した相互実習を熟練させる。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	3.4	模擬患者実習前練習	超音波スケーラー実習を通してフェザータッチを感じることができる。
2		10	3.4	歯周基本治療	歯周組織の破壊程度の診査方法と情報収集を始めることができる。
3		11	1.2	歯周病検査	アタッチメントレベル・ゲイン・ロスを理解することができる。
4	5	10	1.2	模擬患者実習	歯周病患者に対する歯科予防処置や歯科保健指導を実施することができる。
5			3.4	↓	↓
6			3.4	校内相互実習	デブライドメントとSPTを熟練することができる。
7			3.4	↓	↓
8			3.4	校内相互実習	トンネリング/ルートトランクに触れることができる。
9			1.2	↓	プラークリテンションファクターを触診することができる。
10			2	考察	患者の口腔内の現状を列記し、表現することができる。
11			2	問診・記録のとり方	医療面接
12			2	歯科衛生過程	歯科衛生過程の演習を討議することができる。

評価基準

教科書

参考書

筆記試験	100%	最新歯科衛生士教本歯科予防処置	ビューフレディ スケーラーやキュレットのハンドシャープニングの力
	%	最新歯科衛生士教本歯周病学	
	%	歯科予防処置(新歯科衛生士教本)	
	%	ベーシックグレーシーキュレットテクニック	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	歯科診療補助実習			学年	3 年 50 期生
担当者				期 別	通年
単位数	1 単 位			講義・実習	実習
時間数・授業回数	2時間 × 1回 4時間 × 7回			専任・兼任	専任
実務経験	福岡医療短期大学専攻科で口腔保健学学士を取得後、臨床経験を積み、歯科衛生士に必要な歯科診療補助について実習を行う。				
一般目標(GIO)					
臨床における各処置内容の理解を深め、歯科治療の補助・介助を安全で適切に行うための技術を修得する。 歯科衛生士としての役割を理解し臨床における専門性を身につける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				暫間被覆冠①	暫間被覆冠の作製手順を理解し、既製レジン冠を使用して作製することができる。
2					
3				暫間被覆冠②	暫間被覆冠の作製手順を理解し、作製することができる。
4					
5				歯科材料	臨床で使用する歯科材料の特徴を理解し取り扱うことができる。
6					
7				相互実習①	円滑なコミュニケーションを図り、相互実習を行うことができる。
8					
9				相互実習②	臨床における歯科衛生士の役割を理解した上で、患者に配慮し相互実習を行うことができる。
10					
11				ホワイトニング	ホワイトニングの特徴を理解する。
12				印象採得	ホームホワイトニングのためのカスタムトレーを作製するために印象採得および模型作製することができる。
13					
14				復習	診療実習に臨むにあたり、各処置における歯科衛生士の役割について再確認する。
15					
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	100%	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯周病学 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科機器 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科材料 (医歯薬出版株式会社)	
	%				
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	臨地実習	学年	3 年 50 期生
単位数	1単位(45時間)	評価基準	実習状況 100%

実習計画

1 実習場所・期間 令和元年5月13日～10月25日

- ①若楠療育園(4日間)
- ②中原支援学級(1日)
- ③保健センター(1日)
- ④特別養護老人ホーム(4日間)

2 実習目的

- ①障害者施設で、歯科衛生士が他職種と連携をとり、口腔機能向上における支援を専門職としてどう関わりながら、個々の障害に合った個別支援を行うために、必要な情報収集・病状の把握・支援・技能および知識を修得する。
- ②養護教員から個々の障害に合ったケアや援助の方法を学び、個々のニーズに合った支援計画の立案をし、実行することを目的とする。
- ③1歳半・3歳児検診での見学を通して、児童の発達段階および日常生活行動について理解し、口腔の管理を行うために必要な知識・技能および態度を身につける。また、個々に合った歯科保健指導ができる様、日頃からのコミュニケーションを含め人との接し方や観察するための能力を身につけることができる。
- ④高齢者施設の利用者を捉え、病状を把握し、情報収集・分析・処置・予防管理を行うために必要な臨床技法および知識を習得する。また他職種との連携における歯科衛生士の役割を学び理解することができる。

3 実習項目

- ①・障害に合った歯科診療の補助 ・特別な支援が必要な疾患の理解 ・障害別コミュニケーションの方法
・障害者本人と介助者が行う口腔ケア ・リスク評価と安全管理 ・摂食嚥下リハビリテーション
- ②・指導教材の作成および活用 ・個々の障害に合った口腔ケアプラン作成と実施
・個々の障害に合ったコミュニケーション
- ③・時期に合った幼児と保護者への歯科保健指導 ・行政での歯科衛生士の役割
・幼児と保護者のコミュニケーション
- ④・口腔介護アセスメント表の作成 ・食事介助および摂食嚥下などの口腔機能状態の把握
・専門的口腔ケアの実施 ・口腔機能維持・向上支援のためのための健口体操の実施
・集団口腔リハビリの実施 ・口腔ケアプランの作成・記録・評価

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	臨床実習	学年	3 年 50 期生
単位数	13単位(585時間)	評価基準	実習状況 100%
実習計画			
1 実習場所	歯科診療所 ・ 久留米大学病院 等		
2 実習期間	令和元年5月13日～10月25日 (原則74日以上)		
3 実習目標	<p>3年次の臨床実習では、より実践的な知識・技術を学ぶとともに、地域社会での歯科衛生士の有り様を現場で学ぶ。</p> <p>各歯科医院の流れを把握し、医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解し実践的な知識・技術を体得する。</p>		
4 実習項目	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室内の環境整備 ・患者誘導 ・使用器具・器材・材料の準備と後片付け ・診療補助(バキューム・ライティング・器具の受け渡し) ・各種検査記録 ・印象採得介助と補助・自験 ・各種セメントと仮封剤の取り扱い ・歯肉マッサージ ・口腔内写真の補助 ・PCTとPMTC ・う蝕予防処置補助(シーラント・フッ化物塗布) ・スケーリング ・TBIおよび保健指導 ・レントゲン補助 ・各診療補助業務の術式確認 ・外科処置の補助・見学 ・ 		